

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月16日(金)

事務事業		資料管理事業		担当課	図書館	担当係	奉仕係	管理番号	87121		
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	図書館法、図書館法施行令、図書館法施行規則、深谷市図書館条例、深谷市図書館条例施行規則					
	小項目	1	生涯学習の推進								
	主要プロジェクト										
事業概要		館内の資料を収集・整備し適切な配架・補充を行い、蔵書の充実を図る。また、年2回の特別整理休館のうちの1回において、図書館内全資料を対象とする蔵書点検により適切な管理を行うものである。									
目的 ※何のために		利用者のニーズに応じた蔵書の整備									
対象 ※誰・何を対象に		図書、雑誌、新聞、視聴覚資料									
手段 ※どのように		資料選定購入・収集・保存・修理・廃棄を行う。									
成果 ※何を求めるか		利用者の求める図書資料を確実に提供する。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)	
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	4	図書館費	図書館資料整備事業	17,944,939	
本事業の 主な業務		・資料の選定・収集・保存・廃棄に関すること(図書資料)							・		
		・資料の選定・収集・保存・廃棄に関すること(視聴覚資料)							・		
		・書架の整理・点検・調整に関すること							・		
		・書誌データのメンテナンス							・		
		・							・		
		・							・		

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		・一般書、児童書、郷土資料、視聴覚資料、新聞、雑誌等の購入	・一般書、児童書、郷土資料、視聴覚資料、新聞、雑誌等の購入	・一般書、児童書、郷土資料、視聴覚資料、新聞、雑誌等の購入	・一般書、児童書、郷土資料、視聴覚資料、新聞、雑誌等の購入		
事業費	予算(現額)	18,875,000	17,946,000	18,040,000	27,973,000		
	決算額	18,756,901	17,944,939	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	102,463	70,558	96,000	96,000	
		一般財源	18,654,438	17,874,381	17,944,000	27,877,000	
人件費	従事職員数(人)	0.90	0.90	0.90	0.90		
	人件費相当試算※	6,985,724	7,082,601	7,376,748	7,376,748		
総事業費試算		25,742,625	25,027,540	25,416,748	35,349,748		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
活動指標 1	実績値の算出式		点						
	図書・視聴覚資料購入点数	目標値							
		実績値		8,881.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各年度の予算額や該当資料の購入単価が影響するため、点数の目標値設定は不適 / 年度内購入数					
活動指標 2	実績値の算出式		千円						
	図書・視聴覚資料購入費用	目標値							
		実績値		15,220.23					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各年度の予算額が影響するため、金額の目標値設定は不適 / 年度内購入金額					
成果指標 1	実績値の算出式		千冊						
	蔵書点数（図書のみ）	目標値		0.00					
		実績値		432.12					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			埼玉県内の平均（平均値は翌年度に決定される） / 当該年度末時点の蔵書点数					
成果指標 2	実績値の算出式		回						
	蔵書回転率	目標値		1.73	1.08				
		実績値		1.08					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			前年度実績を下回らない / （図書のみ） 図書貸出数／蔵書点数					
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	図書館運営の基本方針、選書方針に基づき、利用者のニーズに応じた図書資料の購入を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	蔵書点数は増加しており、埼玉県平均冊数を上回っている。
			評価者 奉仕係長 眞下 綾子

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	蔵書管理の効率化を図るため、ICTを活用した業務改善を検討していく必要がある。
			評価者 奉仕係長 眞下 綾子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	利用者のニーズに応じた図書資料の購入を行うとともに、各館において独自テーマの資料収集を実施する。
達成状況及び その効果	リクエストの多い図書資料の購入により、利用者サービスの向上を図る。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	資料管理事業	担当課	図書館	担当係	奉仕係	管理番号	87121
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		リクエストの状況、アンケート調査などにより、利用者のニーズを分析し、図書資料の購入に反映している。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	図書館長	高橋	桂子		

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	貸出点数を増すため、利用者のニーズに応じた図書資料の充実を図る。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	利用者のリクエストを分析して図書資料の購入を行うとともに、各館でも独自テーマの資料収集を実施する。

8. 評価指標グラフ

